

基本方針 4

【 学校・家庭・地域の役割と責任に基づいた連携を進める 】

学校・家庭・地域の役割と責任が明確でなく、社会全体の教育力が低下しているという状況にあって、

三者が教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携と協力に努めることが求められている。

そのために、それぞれが、子どもの教育や、社会教育に関する情報や目標を共有し、互いに意見を交換し合いながら、積極的に教育に参加する体制づくりを推進する。

＝基本方針4を設定した意図＝

価値観が多様化している現在、学校だけで教育問題に取り組む状況ではなくなっている。また、核家族化が進む中で、近所付き合いで孤独に悩む母親や、集団行動が苦手な子どもも増えている。そこでこれからは、家庭が教育の原点となり、地域が子どもの育ちを支え、学校は子どもの成長に必要な基礎的な力を学ぶ場として、それぞれの役割を自覚し、情報を共有し、すべての市民が教育を支えていくような仕組みづくりを進めていかなければならない。

また、調布市の方針として市民との協働がうたわれており、市立小学校区域を中心とした地域連携を推進する「地区協議会」の設立に向けた取組が行われている。地区協議会に限らず、地域と学校とのかかわりは、従来のPTA活動にとどまらず、地域住民が学校の環境整備に参画し、学校も地域へのかかわりを深めるようになってきた。その一例として、児童と高齢者との交流を目的とした「ふれあい給食」なども実施されている。

地域性を生かした教育の取組は、学校においては、郷土愛を育む「調布を大切に学習」ができ、地域においては、学校を核とした交流の中で、地域で活動する人材の発掘や育成を通して地域を活性化させていくことにつなげていく。こうした学校・家庭・地域の連携を生かした教育の取組のためには、地域の実情に合わせた学校支援体制の検討も必要となってくる。

このような中で、基本方針4では、学校・家庭・地域の役割と責任に基づいた連携を進める、を柱とし、施策につなげていくこととした。

施策17 地域・保護者に開かれた学校にかかわる取組

学校の教育活動について、自己評価だけでなく、学校関係者による評価や有識者による学校第三者評価を実施することにより、学校評価の客観性や透明性の向上を図り、地域住民の信頼に応えるとともに、説明責任を果たすことのできる学校経営・学校運営を推進する。

また、子どもたちの健やかな成長には、学校・家庭・地域が一体となって教育を進めることが重要であり、互いの意思疎通を図り、学校にかかりがちな過大な負荷を軽減する必要がある。若手教員が増加する中、これらの問題の解決に向けて、学校をサポートする体制づくりについて検討する。

主要事業 105 学校評議員制度の実施

《事業のねらい》

教育活動，学校評価，学校・家庭・地域との連携などの学校運営に関し，校長の求めに応じて意見を述べ，学校を支援する学校評議員制度を継続して実施する。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 106 学校関係者評価の実施

《事業のねらい》

保護者，学校評議員，近隣学校等の教職員等で構成する学校関係者評価委員会が，学校が行う自己評価の結果を評価することにより，自己評価の客観性・透明性を高めるとともに，学校の現状と課題について学校及び地域が共通理解を深め，学校運営の改善への協力を促進する。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 107 学校第三者評価の実施

《事業のねらい》

学識経験者，企業経営者，学校教育に携わる管理職経験者で構成する学校第三者評価委員会が，調布市立学校における教育活動等学校運営の状況について，客観的立場から評価し，学校運営の改善等を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課：指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 108 専門家による学校サポート体制の検討

《事業のねらい》

学校内で発生したさまざまなトラブルについて，学校と保護者・地域との間で速やかな解決が図れない場合に，双方に利害関係のない第三者の専門家がかわることによって解決につなげるためのサポート体制づくりについて検討する。

【5年間の取組予定】 ★新規事業 (事業主管課：指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度			
/		検討	----->		

施策 18 家庭・地域の教育力の向上・活用に向けた取組

地域のボランティアの活用や学校と地域を結ぶ学校支援のネットワークづくりを進めることにより、地域の人材を活用した特色ある教育活動を推進する。

また、地域住民の自主的な社会教育活動の支援に努め、地域活性化につなげる。

主要事業 109 学校ボランティア・協力員の活用

《事業のねらい》

教育活動を補助・支援する学校ボランティア・協力員を活用することにより、学校における教育活動の充実を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

※学校ボランティアは調布市の制度の名称で、一般的にいう学校支援ボランティアと同じ。

主要事業 110 学校支援地域本部制度の活用の検討

《事業のねらい》

保護者・地域住民が学校支援ボランティアとして、地域の実情に応じて学校教育活動を支援し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する学校支援地域本部制度の活用について委員会を設置して検討する。

【5年間の取組予定】 ★新規事業 (事業主管課:指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度			
検討		----->			

主要事業 111 公立学校 PTA 連合会活動への支援

《事業のねらい》

学校教育、社会教育に関して学校と家庭との連携を図ることを目的に、調布市公立学校 PTA 連合会の広報、体育事業、懇談会、講演会などの活動に対し、補助金を交付することにより、PTA 活動の促進を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:社会教育課)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 112 地域文化祭の実施(再掲)

《事業のねらい》

公民館施設を利用する団体が、実行委員会を組織して地域文化祭を企画・運営し、学習成果を発表する場となっている。地域文化祭は、公民館利用団体相互だけでなく、地域住民との交流を深める機会ともなっている。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:公民館)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 113 公民館登録団体の地域参加の検討・充実

《事業のねらい》

公民館登録団体との共催事業を実施したり、また登録団体会員を講師やサポーターとして活用することで、地域全体で社会教育活動を支え、地域活性化を図る。

【5年間の取組予定】 ★新規事業 (事業主管課:公民館)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	検討・準備	----->		実施	----->

主要事業 114 図書館ハンディキャップサービスの推進(再掲)

《事業のねらい》

ハンディキャップサービスは、点訳・音訳した資料を利用者に提供すること、また来館が困難な利用者への宅配サービスを主として市民の協力を得て実施してきている。市民自らが調布市の図書館活動に関わることで、生涯学習の充実を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:図書館)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 115 子育て支援のための家庭教育事業の実施(再掲)

《事業のねらい》

家庭での教育の欠如を起因とした、子どもの問題行動や子どもへの虐待などは、家庭でどのように子どもを教育したらよいか分からずにいる親が多いことも要因の一つである。特に核家族や若い世代の保護者に対して、学びの場や情報を提供することで、子育て家族の支援を行う。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:公民館)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施 ----->				

主要事業 116 家庭教育セミナーの実施(再掲)

《事業のねらい》

家庭教育に関する知識や意識の向上を図るため、市内公立小中学校PTAが企画、実施する家庭教育セミナーに対して、助言や助成などの支援をする。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:社会教育課)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施 ----->				

施策 19 地域とともに進める郷土愛を高めるための取組

地域との交流を深めることは、教育とともに、文化・芸術、文化遺産等の保存・継承・活用を促すことにつながる。そこで、文化財や地域ゆかりの場所、ものの情報収集・発信、保存の取組過程において、地域住民の主体的な参加を促進させるような体制を検討する。

主要事業 117 市民の手によるまちの資料情報館事業の推進

《事業のねらい》

調布市地域情報化事業の一環として、市民の目線で、市民自らが調布に関する事柄を調査、整理し、調布市立図書館のホームページを通じて発信している。市民が調布に関心をもつことに通じる事業である。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課：図書館)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 118 深大寺地区エコミュージアム構想の推進

《事業のねらい》

エコミュージアムは地域の文化遺産等を地域住民が主体となって、まちづくり等に生かす考え方で、文化財保護の立場からすれば、住民参加型の新しい文化財保護手法であり、市内でも文化遺産の集中している深大寺地区を対象に進めていく。

【5年間の取組予定】 ■推進プログラム事業 (事業主管課：郷土博物館)

平成19～21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度～
推進プログラム(前半)	推進プログラム(後半)			【調布市次期基本構想 に基づく計画事業】
	次期基本構想に基づく計画事業の策定			
実施	点検評価見直し・実施			新しい計画事業を受けて対応

施策 20 地域ぐるみの学校環境整備に向けた取組

通学路の安全確保や、児童・生徒が正しい交通マナーを身につけることを通して、児童・生徒が安全で安心して生活を営むことができる基盤をつくる。

また、不審者対策にも取り組む必要があり、学校の安心・安全メールの導入の促進や、子どもの家の充実、スクールガード講習会等を実施し、地域とともに学校の安全・安心に取り組む体制整備を推進する。

主要事業 119 通学路の安全確保の推進

《事業のねらい》

通学路標示板の更新，通学路マップ作成，児童交通擁護員の見廻り等を通じて通学路の安全確保を推進するとともに，保護者・地域との連携で通学時の安全対策を図る。

【5年間の取組予定】 ■推進プログラム事業 (事業主管課：学務課)

平成19～21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度～
推進プログラム(前半)	推進プログラム(後半)			【調布市次期基本構想に基づく計画事業】
	次期基本構想に基づく計画事業の策定			
実施	点検評価見直し・実施			新しい計画事業を受けて対応

主要事業 120 子どもの家の充実

《事業のねらい》

児童・生徒の登下校時の安全確保を地域・学校・警察等と協力して推進する。また、市内における不審者情報が増加傾向にあることから、市内事業所8団体と覚書をかわし、児童・生徒の安全を守る取組の強化を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課：社会教育課)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施				

主要事業 121 スクールガード講習会の実施

《事業のねらい》

「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の趣旨に基づき、調布市独自に調布警察署の協力を得て、各学校における不審者対応等に向けた講習会を実施してきた。対象者は学校内部だけでなく、保護者や地域で活動している団体にも参加を呼びかけており、今後も継続し、地域ぐるみで学校を守る取組を実施する。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課：教育総務課)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施				